

第1回常任理事会報告

- 日時 平成21年4月14日(火)午後2時30分～同3時45分
場所 日本歯科医師会 801会議室
- 出席者 <会長> 江藤一洋
<副会長> 住友雅人
<総務理事> 黒崎紀正
<常任理事> 佐藤田鶴子、山崎芳昭、福田仁一、江里口 彰、
寺下正道、上西秀則、伊藤公一、栗原英見、
荒木孝二
- 欠席者 <副会長> 井出吉信
<常任理事> 川添堯彬、後藤滋巳、佐々木啓一

[議長 江藤会長]

1. 開 会

住友副会長より、開会の挨拶がなされた。

2. 挨 拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

▶ 診療ガイドラインについて

- 江藤会長より、日本歯科医学会歯科診療ガイドラインライブラリーの準備状況を資料に基づき報告。

日歯関係者も参画する歯科診療ガイドライン調査研究協議会を設置して、診療ガイドラインライブラリーを運営していく予定である旨説明した。また、同協議会の下に、ライブラリーへの収載申請のあった各種ガイドラインの研究・評価を AGREE チェックリストに基づき審査する「ライブラリー収載部会」を設けることを補足説明。

- 栗原常任理事より、各分科会によって診療ガイドラインの作成状況が異なるため、各分科会に対し事前に、ライブラリーの開設通知と併せて AGREE チェックリストも通知した方が良い、と意見があった。
- 伊藤常任理事より、各分科会で作成した既成のガイドラインについても、ライブラリーへの収載を申請し、Minds への掲載を目指すことも可能であるか質問があった。

それを受け、江藤会長より、既成のガイドラインについてもライブラリーに収載申請できるよう配慮したい。また、AGREE チェックリストに則ったガイドライン作成を支援する体制を整えていく予定である、と回答。

(2) 歯科医療技術革新の推進

- 江藤会長より、歯科器材・薬剤の開発・改良に係るシンポジウムの結果等をアクションプランとして取り纏めていく必要性が述べられた。
- 住友副会長より、歯科も医科と同じように、診療報酬の定期改定時期の間であっても、新材料の保険収載を検討する必要がある、と意見があった。

江藤会長より、診療報酬改定に関わる問題であり、歯科医学会だけでなく日歯、産業界を含め歯科界全体の方向性を一致させた上で対応を図る必要がある、と回答。

(3) 学会機構改革の推進

▶ 摂食嚥下リハビリテーションのカリキュラム原案について

江藤会長より、前執行部において、歯科大学・歯学部における在宅歯科医療と摂食嚥下リハビリテーションのカリキュラム原案の作成を日本老年歯科医学会に諮問した結果、同学会より原案が提出された旨資料に基づき報告。

今後、専門分科会及び認定分科会にパブリックコメントを求め、本学会の学際領域問題 WG 内で成案を作成する旨補足説明。

(4) 専門医制度の確立

江藤会長より、メディアファクスの記事で、厚労省が日本専門医制・評価認定機構を活用し、専門医制度を促進していく旨が報じられた。歯科における専門医制度のあり方について、専門医制審議会内で議論を深めていく必要があるが、その際は、国民にとってどのように有意義であるのかという視点が重要である旨説明。

- 栗原常任理事より、各分科会内で独自に専門医制度は設けられているが、専門医の数と地域分布に対する考え方を整理する必要がある、と意見があった。

(5) 国際交流の推進

江藤会長より、①IADR が FDI や WHO との連携を取り始めたこと、②中国やモンゴルなどアジア各国歯科医学会との交流協定締結等を受け、今後、具体的な交流活動を推進していきたいと説明。

2) 平成 20 年度採択日本歯科医学会プロジェクト研究中間報告について

黒崎総務理事より、標記中間報告書の提出があった旨資料に基づき報告。

- 江里口常任理事より、研究成果の報告について、開業医にも研究内容が伝わりやすいよう配慮する必要がある、と要望があった。

佐藤常任理事より、同研究は 2 年にわたり遂行していくものであり、中間報告書は研究初年度終了時に提出された旨報告。また、研究成果は日本歯科医学会誌にも掲載される予定であるが、その際は、会員が読み取りやすいよう工夫される旨補足説明。

荒木常任理事より、4 月末日締め切りで提出される、平成 19 年度採択研究の総括成果報告書を確認した上で、対応を検討していく必要があると説明があった。

住友副会長より、プロジェクト研究事業は学術的に高度な研究成果や医療技術を臨床現場に普及させることを目的にしていることから、日歯会員にも事業内容が周知されるよう努めていきたい、と説明。

3) 平成 21 年度 8020 研究事業の公募について

黒崎総務理事より、標記研究事業が公募されている旨資料に基づき報告。

4) 第6回(平成21年度)日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について
黒崎総務理事より、標記推薦依頼について、資料に基づき報告。

5) 会長報告

江藤会長より、日歯第1回理事会における報告事項及び協議事項について、資料に基づき報告

4. 協 議

1) 重点計画の推進

江藤会長より、各分科会との意見交換を図った上で、新執行部の新重点計画を策定するため、本会議では特段の協議事項をもうけていない旨説明があり、了承された。

2) 事業計画の推進

(1) 事務引継について

黒崎総務理事より、前執行部からの事務引継事項について確認があった。

(2) 関連団体との連携について

黒崎総務理事より、関連団体との連携強化を目的とし、①日本歯科総合研究機構、日本学術会議、国際歯科研究学会日本部会(JADR)の代表者が理事会オブザーバーとして、②日本歯科総合研究機構の代表者が常任理事会オブザーバーとして出席することについて諮られ、協議の結果、了承。

(3) 国際歯科研究学会日本部会(JADR)への助成金交付について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られた。

協議の結果、強固な国際ネットワークを有する同会を通し、海外との交流を促進するため助成を行ってきた経緯があるものの、日歯において入会金の撤廃を見込んだ経費削減を進めていることや、同会の予算概要などを考慮し、引き続き検討していくこととした。

(4) 後援名義貸与について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、後援名義を貸与することを了承した。

(5) 役員派遣について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、役員を派遣することを確認し、派遣者を決定した。

3) その他

- 栗原常任理事より、海外の諸団体・機関にも役員就任挨拶状を送付することについて諮られ、協議の結果、対象者の選定を含め検討することとした。

5. 閉 会

住友副会長より、閉会の辞。